

<http://www.womensoutdoornews.com/2017/04/yuanfen-2-pieces-jade/>

Yuanfen and 2 Pieces of Jade

運命の糸と2つの翡翠

中国の文化では、「運命の糸」～ 縁分というコンセプトを信じています。誰かがあなたと運命の糸で繋がり出会うという事です。運命の糸で繋がっている人と一緒に過ごす時は大変心地よいものだと感じるでしょう。会ったばかりでも昔から知っているかのように話をする事ができます。

私の夫のカルロスと私は運命の糸で繋がっています。

運命の糸・縁分

私が若いころ、母はいつも私に内面からの美しさで男性を魅了しなさいと言い聞かせました。私は、そのことは私が外面的に美しくないからそのように言っているのかと思いました。そしてずっと長いことその事でかなり不安に感じていました。



でもカルロスのことは最初から好きでした。

私は17の時に中国人学生協会主催のキャンプでカルロスに出会いました。高校を卒業したばかりの頃で、カルロスはスタンフォード大学の2年生でした。

私の父は大変厳しかったので、そのキャンプは私が異性と出会える稀な機会でした。キャンプ中イブニングドレスを着た女の子たちが男の子たちが見ている前を歩いていくショーの企画がありました。

それは本質的に品評会でした。

それでも私は自分で作った白いAラインのドレスを着ることにしました。当時母から教わり自分の服は全部自分で縫っていました。

驚いたことに私はキャンプのクイーンに選ばれました。

このイベント中、カルロスは私に自己紹介をしてきました。私がハイヒールを履いていたので彼は私より背が低く年下に見えました。でも彼は自信たっぷりに挨拶をしてきました。

カルロスは男子学生の社交クラブに所属していることを知り、私は警戒しました。社交クラブの男子の評判を聞いていたからです。カルロスと私はその晩は一緒に出かけたりはしませんでした。運命のおかげで私たちは再び会うことになったのです。



翌週末、私の母はキャンプに参加していた何人かの男子を家に呼びました。 ほぼ全員カジュアルな服装でやってきましたが、カルロスだけは違い印象付けようとおしゃれをしてきました。 彼はスーツを着てケーキを持ってやってきました。

カルロスは背が低く年下のルックスではありましたが、彼の優しい目と笑顔に魅了されました。 彼はその午後のほとんどを母と話していたのですが、母が私の妹であるスーとくっつけようと話を進めているのを聞いてしまいました。

でもカルロスは驚いたことに私を誘ったのです。 私はそれまで一人としかデートに出かけた事はありませんでした。



最初のデートでカルロスはディナーに連れて行ってくれました。彼は車を止め、当時ネッキングと呼んでいましたがイチャイチャしました。私はカルロスとキスをする事自体は好きでしたが、もしこれだけが彼の望む事であれば、他の人を見つけた方がいいと言いました。

カルロスはそれが目当てじゃないときっぱり否定しました。そして私たちは付き合い始めました。

カルロスはスタンフォードに通い、私はサンフランシスコの州立大に通い実家に住んでいましたが、かなりの時間を一緒に過ごすようになりました。一緒に過ごせば過ごすほど彼のことが好きになりました。まもなく私たちは離れられなくなりました。



カルロスと私は親友となり本音を語れる仲となりました。

私たちの間には運命の糸がありました。

私は23の時に彼と結婚をして今日まで幸せに暮らしています。

長年カルロスと一緒にいてくれることが当たり前だと言いませんが、どれだけ大切な存在であるのか思い出させてくれることがありました。

それは2013年にビアンキカップのためにトレーニングをしていた時に脚の骨を二箇所骨折してしまった時、希望の光となりました。



リハビリ中、運命の人カルロスと私はそもそも何故彼と恋に落ちたのか思い出しました。

カルロスは私が回復する間ずっとそばについてくれ、一步一步手伝ってくれました。家の中ですら移動できなかつた時、彼は私の面倒を看てくれました。彼は食材を買いに行き、料理もしてくれました。彼は私が自力でシャワーを浴びられるように浴室の準備もしてくれました。

骨折をして二ヶ月経った頃、家の中で私は頭が変になりそうでした。カルロスは私が少しでも練習ができるように、私の恩師であるJim O'Youngと一緒にエアピストル用の小さなレンジを裏庭に作ってくれました。

とりわけ、カルロスは私の友達であり最大のサポーターです。私が落ち込みすぎないようにしてくれました。カルロスがどれだけ優しいかももちろん分かってはいましたが、長年一緒にいる間見えなくなっていた部分でもありました。

カルロスと私は、子供を亡くした悲劇からビジネスで破産しかけたことまで、人生の試練を一緒に耐え抜いてきました。



私たちの絆は試されました。そして私たちの結婚生活は緩やかなものではありませんでした。しかし、結婚と愛を持って、それぞれの困難を乗り越えてきました。

私のカルロスへの愛は無条件です。私のパートナーであり一番の友達です。

中国語で結婚できないカップルの話があります。彼らの魂は繋がっていて、二人で約束をします。翡翠を二つにわり半分ずつ持ちます。それからお互いを見つけた時に、もう片割れの翡翠も見つけるというわけです、

運命の糸と死後の世界

カルロスと私の宗教観は違います。私は神とイエスキリストを進行しています。カルロスは仏教の死後の世界に同調しています。

私たちが死んだ後別れてしまうといけないので、私はひとかけらの翡翠を持ち歩いています。私はもしこの命が終わる時が来ても、カルロスが私をまた見つけてくれると信じているからです。

でも、それは何よりも、私が50年以上愛していた男性と、私たちが一緒に共有する絆を思い出させるものです。

